

6月

9月

12月

3月  
定例会

# むらやま 議会だより

2018

vol.97

2018年4月15日  
発行



3月  
定例会

2080万円

# 数学学力向上プロジェクト

**平** 成30年第1回定例会は2月28日から3月20日までの会期で開催され、新年度予算などを審議しました。

一般会計では、駅西開発に伴う道路・環境整備事業、統合保育園・児童遊園整備事業、大わらし奉納関連事業など131億5千万円（対前年比1.7%増）となりました。

また、8件の特別会計では国民健康保険税の給付費や介護利用サービスの増加など、78億7千80万円（対前年比5.7%減）となりました。新年度予算のほか、条例の一部改正など20件、補正予算6件が提案され、新年度予算9件は予算特別委員会に付託し、全議案原案のとおり可決し閉会しました。



改修予定の市民体育館

## 条例等

- 村山市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例について  
居宅介護支援の指定権限等が都道府県から市町村に移譲されるために基準を定めるもの。
- 村山市個人情報保護条例の一部を改正する条例  
法律の一部改正に伴い条文の整理を行うもの。
- 村山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について  
市職員における特別休暇として、男性職員の育児参加の休暇規定を整備するもの。
- 村山市市有財産の管理及び処分等に関する条例の一部を改正する条例について  
行政財産の目的外使用に係る使用料の規定を改正するもの。
- 村山市国民健康保険給付基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例について  
法律の一部改正に伴い基金の設置目的などの見直しを行うもの。
- 村山市税条例の一部を改正する条例について  
法律の一部改正に伴い条文の整理を行うもの。
- 村山市手数料条例の一部を改正する条例について  
政令の一部改正に伴い条文の整理を行うもの。
- 村山市山の内自然体験交流施設条例の一部を改正する条例について  
行政サービスの向上及び施設運営の適正化を図るもの。
- 村山市体育施設条例の一部を改正する条例について  
東沢運動広場を教育財産の用途廃止し普通財産に変更するもの。
- 村山市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について  
法律の一部改正に伴い住所地特例に係る規定の改正をするもの。
- 村山市介護保険条例の一部を改正する条例について  
法律の一部改正に伴う罰則規定の見直しを行うもの。

# 予算総額210億

## 村山市民体育館改修／算数

### ポイント

- 楯岡小学校改築工事は本年度完了予定で1月より新校舎での授業になります。
- しろはと・新町保育園は4月より(株)アートチャイルドケアに業務委託し、9月から統合保育園になります。
- 求人情報発信とUターン就職活動に対する交通費を助成します。
- 英語の学力向上のために授業研究やイングリッシュ・キャンプと、算数・数学の学力向上のため支援員配置や共同研究、研修視察を行います。
- 市民体育館の床や、トイレなどを改修します。



タブレットを使った授業

### 新年度の主な事業

- 楯岡小学校改築事業 5億6千52万円
- 市民体育館改修事業 1億3千万円
- 算数・数学学力向上プロジェクト 902万円
- 駅西開発に伴う道路・環境整備事業 2億9千850万円
- 統合保育園・  
児童遊園整備事業 1億5千326万円
- 小型除雪機購入補助事業 400万円
- まちの再生支援事業・  
不良住宅除却促進事業 650万円
- Uターン就職促進事業 133万円
- ICT人づくり事業 320万円
- 大わらじ奉納関連事業 698万円

- 村山市指定介護予防支援等の事業に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について  
基準の一部改正に伴い条文の整理を行うもの。
- 村山市指定地域密着型サービスに関する基準を定める条例の一部を改正する条例について  
基準の一部改正に伴い条文の整理を行うもの。
- 村山市体験農園条例の一部を改正する条例について  
体験農園使用料の規定について改正を行うもの。
- 村山市農民研修センター条例を廃止する条例について  
山の内農民研修センターの老朽化及び利用者の減少に伴い、当該施設を廃止するもの。
- 市道路線の認定及び廃止について  
市道の整備及び地域の生活道としての利便性向上を図るもの。
- 字の区域及び各称の変更について  
西郷名取地区及び長島地区の県営土地改良事業により字の区域及び名称を整理するもの。
- 人権擁護委員候補者の推薦  
芦野富士子氏(大久保)
- 副市長の選任について  
高橋 政則氏(湯野沢)
- 教育委員会委員の選任について  
早坂 幸起氏(笹田)

# 平成30年 予算特別委員会



茨木 久彌  
予算特別委員長

本委員会は、全体会、及び、二つの分科会において、平成30年度の予算編成に、平成28年度決算の審査報告が活かされているか、現在の財政状況に合致しているか、また、市民の理解と賛同を得るものとなっているか、などの視点で慎重に審査を行ったところであります。その結果、「次の世代に引き継ぐ魅力のある村山市」実現のため、第五次村山市総合計画の着実な推進を基本方針とし、引き続き「村山市 まち・ひと・しごと創生総合戦略」を行うため、限られた財源の適正配分に努力されたことを評価するところであります。今後とも歳入、歳出の収支均衡が図れない状況が想定されますが、多様化する市民ニーズに対応していくため、財源の効果的な配分に取り組んでいただくとともに、審査の過程で各分科会で述べられた意見や要望については、予算執行にあたり十分尊重されるよう要望し、審査の報告といたします。

## 議員の声は

## 市民の声

### 総務文教分科会

- 駅西開発について民間が持つアイデアを十分引き出し、住宅開発についても市が民間事業者に何を提示できるのか十分な検討を望む。
- 定住移住については、村山市らしい田舎暮らしの良さを発信が弱い。ため、ホームページを工夫するなど、さらなるPRを望む。
- 東京オリ・パラ文化交流事業として市民がブルガリアの文化に触れる多くの機会の設置と共生社会の実現のためパラ関係にも意を払った事業展開を望む。
- 市立図書館について、使いやすさと評価の声もあるが近隣に類似施設ができ、利用者の減少が懸念される。良書の購入を図るなど近隣施設との差別化を望む。
- 小学校給食について、児童数減少により各学校の食材購入に係る苦労が懸念される。本市が誇る地産地消・自校給食の継続を強く望む。
- 来年度から算数・数学学力向上プロジェクトが導入されるが、点数対策にすることなく、教科を好きになることを念頭においた事業展開を強く要望する。
- 防災訓練について、高齢世帯への対応を含めた計画づくりを望む。防災対策については、市単独での対応が不可能な部分もあるの。国や県とも連携した体制の整備を要望する。
- 消防の広域化も視野に、近隣自治体との協力体制の推進を望む。

### 産業厚生分科会

- 畑については、耕作放棄地の解消と農地の集約化が進んでいないように思われる。今までの以上の取り組みを要望する。
- 鳥獣被害対策として講じてきた電気柵の設置が大きく進まない。農家と連携し、鳥獣撃退に有効な対策を講じられるよう期待する。
- 林業に関して、公共施設の修繕活用などさらなる推進を望む。
- 北村山公立病院組合の医療体制や経営について、危惧される。他の一部組合も含め、意見集約や協議の体制構築を望む。
- 来年度から高齢者福祉計画が策定され、地域にあったサービス提供体制の充実を望む。認知症への対応についても、支援体制づくりのさらなる推進に期待する。
- 不良住宅（空き家）の除却を行う方への補助事業について、きめ細やかな相談と申請者間で不公平感が出ないような体制づくりを要望する。
- 道の駅移転について未だ計画や方向性が見えない。余暇開発公社の運営や職員体制への影響が想定されるため早めの対応を望む。
- 小規模企業活性化事業の啓蒙と周知を行い、さらなる推進を期待する。
- しろはと・新町統合保育園について、開園の遅れにより、保護者や関係者にも負担をかけた。開園までの円滑な移行を要望する。

**予算特別委員会  
総括質疑**

**市民生活**

**向上に**

**どう活かす**

**空き家対策事業は経済的弱者を救えるのか**  
**Q** 空き家対策として2つの事業が予算化されているが内容を問う。  
**A** 平成29年度に村山市空き家等対策計画を策定した。老朽化した空き家に対し、2つの事業各々2件ずつ予算化している。  
**Q** 空き家は本来自己責任で管理するのが当たり前だが、放置する要因としての経済的弱者を優先する考えは。  
**A** 資力のない人には、必要があれば検討していく。まずは計画を進めていく。

**算数・数学学力アップを目指す**

**Q** 算数・数学学力向上プロジェクト事業の内容を問う。  
**A** アドバイザー1名、サポーター3名を配置し算数と数学の学力アップとともに、教職員の指導力アップも目指すものである。

**健全な病院運営を**

**Q** 北村山公立病院組合負担金が近年増加しており、5年前の約3倍になっている。その原因と対策は。  
**A** 医師不足が続いていることが大きな要因であり、医師の派遣を引き続き要望していく。地域住民の要望に添

**東沢バラ公園のさらなる改良を**

**Q** プルガリア新体操チームのキャンプ誘致や信子妃殿下お成りなどバラを契機とした事業が展開されている。公園やバラ自体のさらなる改良が望まれるが。  
**A** 日本バラ協会からの派遣・指導を数回予定しており、専門家視点での改良を少しずつ進めていく。

**消防団の手当てが少ないのでは**

**Q** 非常時消防団員への報酬、出勤手当が全国平均や山形市などと比べて低くないのか。  
**A** 山形市に比べると少ないが、北村山管内では、ほぼ同額である。今後、装備の拡

充や10年先を見据えた施策の中で検討していく。

**介護保険は黒字 保険料値上げ中止を**

**Q** 年金年額18万円未満の普通徴収対象者22人のうち、滞納者は何人か。  
**A** わからない。  
**Q** 22人の介護認定や保険給付状況などを把握しているか。  
**A** サービスを受けている人はいる。  
**Q** よく把握しないまま保険料を上げようとしている。6期は黒字を大幅に増やしてきた。値上げでなく基金取り崩しで対応を。



リニューアルしたリハビリテーション施設



秋の防災訓練（西郷地域）

**審議結果報告**

(3月定例会において賛否の分かれた議案についてのみ記載しました)

議案等の名称	議員名	議決結果	市 政 ・ 公 明 ク ラ ブ							日本共産党 村山市議団		改革クラブ			無党派			賛成	反対	
			矢萩浩次	高橋菜穂子	石澤祐一	森一弘	大山正弘	茨木久彌	海老名幸司	川田律子	中里芳之	犬飼司	菊池大二郎	結城正	菊池貞好	佐藤昌昭	秋葉新一			長南誠
市長提出議案 第13号 平成30年度 村山市介護保険事業特別会計予算		可	○	○	○	○	○	○	○	退	×	○	○	○	○	○	○	議	13	1
第17号 村山市個人情報保護条例の一部を改正する条例について		可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	議	13	2
第26号 村山市介護保険条例の一部を改正する条例について		可	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	議	13	2

正副議長及び監査委員は会派に属しません。議長は可否同数の場合以外は採決に加わりません。

可 = 可決    否 = 否決    ○ = 賛成    × = 反対    退 = 退席



高橋 菜穂子

### 三世帯同居に、リフォーム支援の拡充を

答弁 子育て応援として検討したい

**Q** 子育て応援定住促進事業補助金の申請状況から、市内での移転もあり、子育て世帯が徐々に楯岡に移動していることが分かる。楯岡は、少しでも便利な暮らしを選択するというニーズに応える宅地の造成が効果を上げているが、北部や西部では、事情は異なる。地域への愛着や家族への愛着がなければ定住を選べない。北部や西部の子育て世帯のほとんどが三世帯同居ではないか。そこで、リフォーム補助金について、三世帯同居または同一学区内に暮らす近居について、市独自の補助のかさ上げを実施してはどうか。子育て世帯の定住対策として有効だと考える。

**A** 県でも実施しているようなので、検討してみたい。

**Q** 保健センターが老朽化しており、母子保健事業の拠点について、甌葉プラザ周辺に集約してはどうか。

**A** た、学童保育が移転する。母子保健事業の拠点について、甌葉プラザ周辺に集約してはどうか。

**Q** 保健事業の拠点としては評判もよくない。一方で、甌葉プラザ周辺は新たに保育園が開園し、五日町児童遊園が整備される。また、保健センターの建て替えは検討する時期にきている。乳幼児健診等はスペースの問題もあるが、場所も含めて検討したい。

**A** 保健センターの建て替えは検討する時期にきている。乳幼児健診等はスペースの問題もあるが、場所も含めて検討したい。

地域への愛着や家族への愛着がなければ定住を選べない。北部や西部の子育て世帯のほとんどが三世帯同居ではないか。そこで、リフォーム補助金について、三世帯同居または同一学区内に暮らす近居について、市独自の補助のかさ上げを実施してはどうか。子育て世帯の定住対策として有効だと考える。



老朽化した保健センター



結 城 正

### 各市民センターに適正な職員配置を

答弁 嘱託地域専門員を配置する

**Q** 昨年4月から、西郷、戸沢、大高根の3地域市民センターに嘱託地域専門員を配置し、運営してきた。地域の方や職員に負担をかけてきた1年間であったが、市としてどう判断しているのか。

**A** 5名の募集に対し3名の合格者を内定し、欠員2名については追加募集し、将来的には、今回の地域づくり推進員の方に、嘱託地域専門員になってもらい全地域に配置したい。

**Q** 村山市の活性化は、各地域市民センターの体制強化しかなないと考えるが、市としての対応を伺う。

**A** まちづくり事業の活性化のために市として、さらに協力、努力していく。

**A** 地域の方や職員に大きな負担をかけた。しかし、地域の方や職員の協力と努力により運営できた。感謝するとともに、市としても、さらにサポート体制を強化していくので協力、努力をお願いしたい。

**A** 5名の募集に対し3名の合格者を内定し、欠員2名については追加募集し、将来的には、今回の地域づくり推進員の方に、嘱託地域専門員になってもらい全地域に配置したい。

**Q** 村山市地域づくり推進員（嘱託）の募集があつたが、業務内容、応募資格、勤務条件など厳しすぎるのではないかと思う。選考結果は、どうだった



大雪の中大勢の人でにぎわう山の内雪まつり



次 浩 萩 矢

## 米農家の経営安定化を

答弁 継続可能な政策を

打ち出していく

**Q** 米の内需は年々減少、生産調整廃止、セーフティネットなしの自由競争、生産コストの削減にも限界があり、本市の基幹産業である米生産農家が安定した経営を可能にするため、輸出と人道支援により販路確保を推進して頂きたいと考えるが。

**A** 米政策は大きな転換期であり国の政策に準じ、農家のために、農家が今後継続可能な政策を打ち出していく。

**Q** 主要農産物種子法が廃止される、優良種子の供給が不安定になる前に対策を。

**A** 国外企業の参入も懸念されるが、優良な品種の選択が広がり農家にとって良いの

ではと考えている。

**Q** 農家の高齢化、後継者・担い手不足の問題は今後ますます深刻化、農業の衰退は本市の産業の衰退にも繋がる、企業の農地所有要件を緩和し参入しやすくしてどうか。

**A** これまできめ細やかな努力でやられてきた農家にとってど

うか、今後を注視していく。

**Q** 6次産業化戦略構想2年目を迎え、現状と手ごたえ、今後の課題と予測は。

**A** 商品開発や農家民宿、加工施設など芽出しの段階にある事業への支援、人材育成にも取り組む。



6次産業化に取り組む農家民宿



司 飼 犬

## 学校安全確保に向けてどう考える

答弁 重要なことなので

一生懸命やっていく

**Q** 小中学校の安全点検方法、頻度は。

**A** 点検表のチェック項目を参考に毎月1回行っており、行事の前後や災害時に臨時の点検、また、教材や用具は、日常点検を行っている。

**Q** 点検表に不備が見受けられるが、教育委員会では確認を行っているのか。

**A** 計画の点検は行っているが、点検表の毎月の確認は行っていない。今後、勉強していく。

**Q** スポーツ施設や体育、部活動で使用する器具の点検は。

**A** 大きな器具は週2回、目視点検。学校の道具は日常点検を行っているが、点検表の記録はない。今後も

学校安全については一生懸命やっていく。

**Q** 部活動、スポーツの外部指導者に報酬や助成を出せないか。

**A** 他市のケースや場合を見極めて周辺地域が統一して実施していないと難しいと

思う。

**Q** 県でも働き方改革のひとつに部活動指導員の配置を推進しているが当市の考えは。

**A** 配置を希望している。初めてのことで見守っていき



葉山中の体育用具室



菊池 大二郎

## 井戸がれの場合、消雪施設道路は廃止か

答弁 できるだけ長寿命化を図る

**Q** 橋岡の本郷地域は碁盤状に狭隘道路が密集。東西線と南北線で除雪業者が分かれているため、交差点角の堆雪など交通の障害も発生。路線毎の業者振り分けではなく、さらに細分化されたブロック体制にしては。

**A** 今季の結果をみて徐々に改良したい。

**Q** 除雪費扶助の該当世帯は約1千世帯。実際には約25%の申請しかない。75%の方の申請を促す以外にも冬期間の経済活動を活性化する意味で、除雪作業を請け負う民間業者の登録・照会リストを作ってはどうか。

**A** 実際に出来れば、面白いと思う。

**Q** 新庄市などでは、※除雪車運行管理



市内の消雪施設道路

システムを導入。本市と連携協定を結んだP Cーホールディングス株に当該技術はあるのか。

**A** 類似の技術は既に持っており、本市にて実証試験を行う予定。

**Q** 井戸がれの際、消雪施設道路は廃止

**A** 割。

**Q** 高齡世帯が増加する本市にとって、有益な施設道路と考えるが、ポンプの更新により、できるだけ長寿命化を図りたい。

**A** 雪により倒壊危険のある空き家数は、25年度調査で全330のうち約4



菊池 貞好

## 歴史文化基本構想の方向性をどのようにしていくか

答弁 街作りに活用していきたい

**Q** 歴史文化基本構想の方向性を問う。

**A** 現在散在している文化財が350程度確認されているが、30年度の活動として文化財を地域毎、テーマ毎に仕分けして関連文化財としてストーリーを作り、点から線へつなげていきたい。また、子供達への伝承も大切なことで、来年度は学校で子供達に文化財を過去だけでなく、現在未来に続くものとして捉え教えていく。

**Q** クアハウス基点の経営診断報告書が昨年5月に出されているがこの報告書の分析はどのようにされたのか。

**A** 当施設は粗利益率が低く材料原価率が高いことが、適正な



市を代表する偉人 松岡俊三公

**Q** 橋岡小新1年生の登下校時の通学路

**A** 安全対策は大丈夫か。新1年生は4月から午後1時半の下の校になるが、地区の保護者が一緒に下校し寄り添うようになっていく。改築完成後、12月の土曜には全校生と保護者が一緒に登校して通学路の安全確認をする。





中里芳之

## 平和宣言都市としてふさわしい取り組みを

答弁 今は何かやる考えはない

**Q** 村山市は核兵器の廃絶を掲げた平和都市宣言を採択している。原爆投下から72年、国連で核兵器を人類史上初めて違法化し「悪の烙印」を押す核兵器禁止条約が採択された。①条約採択の意義をどう捉えるか。②唯一の被爆国でありながら、核兵器禁止の世界の流れに逆らう日本政府の姿勢をどう思うか。③条約採択を受け、「平和宣言都市」村山市は今後どんな取り組みをするのか。

**A** ①ほとんどの人が良かったと思っっているのではないか。②条約採択の背景がわからないので論評しない。③今は何かやる考えはない。

**Q** 安倍内閣は、教育勅語を教材として使用できると閣議決定したが、勅語は憲法理念と相いれず、国会で排除・失効決議されたものだ。①道徳で勅語を教材にしてはならないのでは。②教材で使うのであれば、否定的使用しかないのでは。

**A** ①道徳に勅語が入る余地はない。②そのとおりだ。

**Q** 道徳の評価は、徳目を押し付けたり、刷り込み誘導するようなものであってはならないのでは。

**A** 当初はたいへん心配した。



平和都市宣言と非核宣言自治体の標柱



川田律子

## 「じゅんさい沼」をいつまでもそのままにしておくのか

答弁 検証・実験する時期に来た

**Q** じゅんさい沼（大谷地沼）の7ヘクタールもの広い沼の復興には、組合はもとより地域・市も一丸となった取り組みにしないと再生は望めない。観光資源としての市の位置づけ、生産量の減少原因の究明、今後の方向について伺う。

**A** 本市の季節の風物詩としてテレビなどでも取り上げられ、バラ、さくらんぼ、じゅんさい取り体験など観光の目玉となっている。平成5年頃までは10トンを超えていたが、近年は2トンと収穫量が減少している。水質や土壌の変化に加え高齢化が進み、取り手不足が要因と考える。じゅんさいの専門家がおらず明確な究明は無い

が、今後沼に試験区を設け残滓の引き上げや間引き、土壌改良剤の投入を行い検証していく必要がある。

**Q** 数年前から危惧されていた現状だが市長の考えを伺う。

**A** じゅんさいには思い入れがある。市の3大産物として他に

ない高品質のものが取れる。平成27年から県の事業でパックや瓶詰で出荷することで付加価値をつけ、生産高は上がっていると思う。泥上げには10アール当り300万円位かかるようだが区切つて実施する方法もある。



観光資源として重要なじゅんさい沼



石澤 祐一

## 障がい者差別解消条例を設置すべき

答弁 設置について検討する

Q 平成27年4月に障がい者差別法が施行された。この法律は誰でもお互いの人格と個性を尊重して支え合う共生社会の実現を目指すして、社会参加する

ときに様々な障壁、差別を無くしていくことである。県では法が施行されると同時に「障がいのある人もない人も共に生きる社会づくり条例」が施行されたが、村山市でも条例を設置すべきではないか

A 必要性は感じる。設置については検討する。

Q 村山市では豪雪対策連絡会議を設置したが、消防署前で1メートルの積雪が確認されなかったため、対策本部は設置されなかった。今冬は大高根・



3メートルを越え、豪雪となった山の内地区

袖崎などでは昨年より豪雪になり、山の内大鳥居では4メートル近くの積雪で、雪下ろしは十数回実施している。尾花沢では今冬より市内5ヶ所の平均をとり、豪雪対策本部を設置している。村山市は積雪の多い所と少ない地域の差が、大きいところ

であることから対策本部設置基準の見直しを検討してはどうか。

A 平均をとるのも一つの考えであり、検討したい。ただ、豪雪対策本部を設置すると移住検討者には悪影響もあり諸刃の剣でもあるのではないか。



大山 正弘

## 将来の農業経営とは

答弁 ブランド米の

安定生産販売拡大に取り組む

Q 米生産目標廃止に伴う市内の米農家をどう見るのか伺う。

A 本市地域農業再生協議会にて、米の需給と価格の安定を目的として、自主的な需給調整の目標を定め各農家に協力要請を決定している。

Q 国内の食用米の需要が年間約8万トン減少する中、米作りを成長産業化するには

A 本市のブランド米の生産・販売拡大に向け取り組む。安定生産のため、県と農協など連携して情報発信し市で生産された良質米のPRを確実に行う。

Q ※GAPの認証取得に対する本市の取り組みは。



「GAP」でよりよい農業生産を目指す現場

※GAP (Good Agricultural Practice 農業生産工程管理) 農業において、食品安全・環境安全・労働安全の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組み。

# 議会活動

## ■1月

- 16日 村山市消防職員意見発表会
- 18日 新春林政講演会
- 19日 全員協議会  
財務行政懇話会
- 23日 天童市議会との情報交換会・懇親会
- 24日 議会運営委員会協議会
- 25日 経営者懇話会新春のつどい新年祝賀会
- 26日 村山市建設業協会新年会
- 29日 河北町議会との懇談会
- 31日～2月1日 市政・公明クラブ要望活動

## ■2月

- 2日 議会運営委員会協議会  
地方創生対策特別委員会研修会
- 5日 果実選果施設能力向上工事安全祈願祭
- 5日～6日 全国高速自動車道市議会協議会定期総会
- 7日～8日 全国市議会基地協議会定期総会
- 9日 産業厚生常任委員会協議会  
産業厚生常任委員会管内視察
- 13日 市議会議員OB会研修及び懇談会
- 14日 北村山広域行政事務組合議会議員研修会  
総務文教常任委員会協議会  
産業厚生常任委員会協議会
- 15日 後期高齢者医療広域連合定例会
- 15日～16日 全国市議会議長会評議委員会
- 16日 議会だより編集委員会
- 19日 会派代表者会議  
広域斎場事務組合議会定例会
- 20日 全員協議会
- 21日 東根市他二市一町共立衛生処理組合本会議
- 22日 議会運営委員会  
議会だより編集委員会  
認知症とともに生きる地域づくりに関する連携協定締結式
- 28日 全員協議会  
3月定例会本会議

## ■3月

- 5日～7日 一般質問
- 9日 予算特別委員会
- 12日 常任委員会・予算分科会
- 13日 常任委員会・予算分科会
- 14日 総務文教常任委員会・予算分科会  
地方創生対策特別委員会  
衆議院災害対策特別委員会との意見交換会
- 16日 会派代表者会議  
予算分科会委員長会・常任委員長会  
議会運営委員会  
中学校卒業式  
小学校卒業式
- 18日 小学校卒業式
- 20日 段々ロングな雛まつりオープニングセレモニー  
全員協議会  
予算特別委員会  
本会議
- 22日 議会だより編集委員会
- 23日 北村山公立病院組合議会定例会
- 27日 北村山広域行政事務組合議会定例会
- 29日 議会だより編集委員会

# 百聞は一見に しかず!!



## よりよい行政のための 視察レポート

### 地方創生対策 特別委員会研修会 研修会 2月2日

事業承継が「カギ」

北郡信用金庫とは地方創生に係る協定を締結しており、夢応援奨学金への寄付を頂いています。本委員会では、市内の中小事業の抱える問題について意見交換を行いました。事業承継の際の後継者不足が起きている実態や、商店街の活性化には、キーパーソンが必要だという事例などの紹介がありました。

最後に市民の生活に密着した相談窓口の設置について提案がありました。



地方創生協定書 締結式

### 産業厚生 常任委員会

### 管内視察 2月9日

袖崎洗心児童クラブ  
袖崎小学校体育館控

室を利用し、保護者が昼間家庭にいない児童に対し、授業終了後及び休校日の遊びの指導などを行うことにより、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立支援を目的としています。施設の床の改修を行い、



洗心児童クラブ

環境改善にも取り組み、より良い健全な育成の場を目指しています。  
行川地区内の流雪溝



行川の流雪溝

新山川より取水口を設けて貯水槽を経由し、12月より4カ月1日3回地域毎に時間帯を決めて流雪溝に放流する

### 一部事務組合議会議員 広域斎場事務組合議会

副議長	秋葉	新一
議運副	結城	正司
議員	犬飼	

除排雪の整備事業です。雪投入口のグレーチングは、2つに分かれて軽量化が進み、開く方向も車道と反対方向に開くため、パイロンなど目立つ表示を置く市民の配慮も必要です。



# 市民の声



水田拓希さん  
(荒町)

私の住んでいる荒町地区では、10年に一度、東京にある浅草寺に大わらじを奉納しており、今年が8回目の奉納にあたります。制作は2月から始め約1ヵ月で完成します。大わらじは長さ4.5メートル幅1.5メートル重さ500キログラムにもなります。

私が制作に参加するのは今回が初めてです。すべての作業が初体験のことばかりで、先輩方から教えてもらいながらの作業はとてもためになり、なにより楽しく進められました。先人の方々が納めて

きた大わらじに負けない様、一切の妥協はありません。駄目な所があれば何回でもやり直し、立派な大わらじは完成します。大わらじだけではなく奉納の時に一緒に納める米俵や、自分達が履くわらじまですべてが手作りです。私は最初、縄すら縛うことができませんでしたが、今では一足作れる様になりました。先輩に比べればまだまだですが…。

最後に、荒町の人達が作り上げた立派な大わらじを是非ご覧になって下さい。



作業のはじめの頃



わらじの形が見えてきた



完成した大わらじ

## 〈表紙写真〉

袖崎柔道スポーツ少年団は、週2回(火・金)楯岡中学校武道館を会場に練習しています。メンバーは26名で、袖崎だけでなく他地区からの参加もあります。昨年は女子団体が東北大会に出場しました。先輩は、全国大会でも活躍しました。練習にはOBも参加し楽しく礼儀作法も学んでいます。

### ◎袖崎柔道スポーツ少年団

監督：平山正典 生徒：26名(3月現在)  
練習日：週2回 火・金 場所：楯岡中武道館



## 議会の傍聴へお気軽においでください。

- ◎本議会だけでなく全ての会議が原則公開です。お気軽においでください。会議の予定はホームページなどでお知らせします。
- ◎インターネット中継も配信中 詳しくは、  
<http://www.gikaitv.net/dvl-murayama/index.html>  
村山市議会→議会中継(ライブ中継・録画中継、外部リンク)より

## 編集後記

今回の議会だよりでは、表紙やレイアウトを一部変更しました。特に今年は大わらじ奉納の年ですので、表紙には大わらじをあらわしました。現在市役所ロビーに展示していますのでどうぞご覧ください。すばらしいさに、議員一同、感激しております。

今後とも議会だよりを読みやすく、分かりやすくを心がけてまいります。

(高橋)